The 2 Chome Times２０２６年１１月号

NO1 のプレミアムストリートをめざして

NO３４２号.

２０２６年・１１月・２５日

発行　神戸三宮センター街 2 丁目商店街振興組合（tel331-3091）(fax333-8591)　２丁目タイムス　１１月号
編集：企画・商業振興部、編集長：井上晶雄 https://www.centergai2.com E-mail:centergai2@nifty.com
フェイスブックでも発信しています https://www.facebook.com/centergai2/
2 丁目で KOBE　Free Wi-Fi ご利用いただけます

★変わりゆく三宮を残していくこと SANNOMIYA NOTE 創刊

2 丁目振興組合として加盟している KOBE 三宮・ひと街創り協議会から新しい紙媒体が創刊されました。「SNS 時代に、今どき紙媒体？」,「クーポンや広告もないの？」という声が聞こえてきそうですね。そう、今だからこそ「**純粋な紙媒体が必要だ**」と考えて創刊されました。震災から 30 年が経過し、三宮を中心に神戸は大きく変化をしています。センター街もその変化に合わせて、お店が入れ替わったり、お客様の顔ぶれが変わったりしていくこともあります。そんな中でも神戸・三宮の顔として、街を守り、創り続けている「街衆」として変わらずに守り続けている事や、変化を恐れず創造していることを「今」を切り口にしてアーカイブしていく試みです。現在進行系で変化している三宮だからこそ「過去、現在、そして未来へ」繋がる物語をつづった記憶装置として、手にして頂きたいと思います。**SANNOMIYA NOTE** 発行元：KOBE 三宮・ひと街創り協議会



季刊誌として発行され、商店街各店舗などで配布。ご希望の方は 2 丁目振興組合まで

★川西祐三郎氏の風景画　版画で味わう旅気分　神戸市立博物館

私達の街と大変繋がりの深い川西　英先生のご子息で、版画家の川西祐三郎先生の作品を観てまいりました。



神戸市立博物館ではコレクション展「版画で味わう旅気分―川西祐三郎の風景画―」が開催されていて、11 点の祐三郎先生の作品が鑑賞出来ます。国外の風景画としては有名な「ガウディの教会（サクラダファミリア）」、「サンピエトロ大聖堂」、「ルーアン（フランス北部の都市）が描かれており、国内のそれでは「富岳四季（秋）」、「神戸の街」など 8 点の作品が展示されています。個人的な印象としては海外の作品は黄色・赤・緑の色彩が鮮やかで華やかさも感じますが、国内の作品は比較的抑えた色目で描かれており、静謐感を最初に感じます。特に写真の「富岳四季（秋）」は目の前で作品を観て頂くと日本の深い〝わびさび〟を感じ、心が落ち着き、許されるなら持って帰りたくなりました。決して派手ではないのですが、少し濃い緑での草木が広がる中景、茶色のくすんだ空、紫の富士が美しい調和を保っています。実は「四季折々の富士山の景観」が連作として製作されていますが、祐三郎先生は「実は何回も訪れたのではなく、見晴らしの良い冬の季節に山梨県の忍野（オシノ）で一泊し、早朝から一日で一周して季節を変えて仕上げた」そうです。



つまり作家の想像力が存分に発揮された作品です。これらの素晴らしい作品は 12 月 13 日（土）までご覧になれますので、お忙しい方々もどうか機会を作って足を運んで観てください。なんとこの催しに関しては、入館料が 300 円という事ですので、これは必見です！　休館日：月曜日　　詳しくはホームページで！

神戸市立博物館：神戸市中央区京町 24 番地　Tel.078-391-0035　http://www.kobecitymuseum.jp

★佐上善昭さんマンドリンリサイタル 音楽の秋に癒されました

10 月 25 日、佐上善昭さんのマンドリンリサイタル「Aufheben（アウフヘーベン)」を鑑賞しました。アウフヘーベンとは、ヘーゲルが提唱した「対立するものをより高い次元で統合する」という哲学的概念ですが、佐上さんは、音を長く持続できない〝ピッキング〟と、音をつなぐ〝トレモロ〟というマンドリン特有の矛盾を例に挙げながら、音楽におけるアウフヘーベンについて語っておられました。第一部ではサルコーリ、カラーチェ、中野二郎、バッハの作品をマンドリンとマンドラ・テノーレで独奏。とりわけ、旋律と伴奏を同時に奏でるカラーチェの楽曲からは、マンドリンという楽器の可能性を感じました。この日、演奏とともに紹介されたサンタ・マリア・ノヴェッラのポプリの香りは、初めてなのにどこか懐かしい、不思議な感覚が秋の音楽の世界観とも重なっていました。第二部ではピアノ、ギターとの共演でベートーヴェンやシューベルトを披露。今では姿を消した楽器「アルペジオーネ」のための作品が、形を変えながら現代に受け継がれていることもまた、「アウフヘーベン」の実例なのかもしれません。人生も音楽も、矛盾を抱えながら新たな価値を生み出していく。ゆったりと演奏を楽しみながら、そんなことを考えさせられる豊かな時間でした。



★今年も三宮で〝Trick or Treat！〟

センタープラザ東館で一時保育を行っている Ray kids school さんから街の皆様にハロウィンイベントへのご協力に対して感謝のメッセージが届きましたのでご紹介します。

「今年のハロウィンも、Ray kids school の子供達と〝Trick or Treat！〟と声を掛けながら、三宮の街を練り歩きました。地域の皆さまに笑顔で迎えて頂き、温かく見守って頂いたおかげで、今年も無事に終えることができました。本日は、子供達が『ありがとう』の気持ちを込めて作った感謝状を、一緒にお届けしてきました。



三宮センター街の大学堂様、毛利マーク様、神戸サウナ様、今年もご協力頂き、本当にありがとうございました！ハロウィンの楽しい思い出とともに、自分たちの言葉で『ありがとう』を伝えた今日のことも、子供達の心に残ってくれたら嬉しいです。これからも、子どもたちが地域の皆さまとふれあえる機会を大切にしていきたいと思います」とのことです。子供さん達の大きく元気な「ありがとう」の言葉は美化活動に集まっていた多くの組合員の皆様の心に響いたことでしょう！

★編集後記

情報漏洩の嵐が止みません。AI が世の中に出現してデジタルの世界が大きく変貌し、アナログ寄りの一人である筆者はアップアップの状態です。三菱 UFJ エムット銀行ではキャッシュカードを全廃するというニュースも流れました。どれほどセキュリティーを厳格にしてもどこかに落とし穴があり、そこに落ちてしまうような不安感が残ります。そして実際に街のある関係団体の事務所にその団体の責任者を装ったメールがあり、現金を振り込ませようとした未遂事案がありました。アナログの時代には考えられなかったような事案です。それでも時代はこの流れに逆行して行くことはあり得ないのでしょう。そうであるならばここは腹を括って可能な限り激流に溺れないように、穴に落ち込まないようにするしかありません。油断と「自分だけは大丈夫」という一種の宗教がかった考えは捨てなければなりません。歴史を振り返れば明らかですが、何事に関しても、「根拠のない安全神話」なぞ成立するはずはないのですから。





美しい街　共に歩む

ビルメンテナンスつるかめ管財株式会社　078-371-3589